

# 丘だより 12月号



## 知っておいてください 認知症

平成 37 (2025) 年の認知症患者数は、約 700 万人となり、65 歳以上の高齢者の 5 人に 1 人が認知症をもつ人になると見込まれています。その為、認知症になっても本人の意思が尊重され、暮らし続けることができるように、より質の高い認知症ケアの提供が要求されています。ロイヤルの丘においても、今後、認知症をもつご利用者様が增大していくことと考えており、ケアの提供にあたり、よりいっそう認知症ケアを大事にしていきたいと考えておりますので、認知症ケアの一貫として、ご家族様にも認知症について知っておいて欲しいと思います。

### 認知症の症状①

病気などが原因で、脳の神経細胞が死滅することによって起こる知的機能障害であり、認知症のだれにでも必ず起こる基本的な症状です。

- ①記憶障害 : 普通のもの忘れは、体験の一部のみを忘れるので、ヒントをもらったりすると、他の記憶から、もの忘れした部分を思い出すことができます。一方、認知症によるもの忘れは、体験したこと全体を忘れてしまうので、思い出すことが難しいということになります。
- ②判断力の低下 : 季節に合った適切な服が選べなくなることがあり、夏でも異常に着込んでしまっていることがあります。
- ③失行 : 服のどこに腕や足を通したらいいのかわからなくなり、上着なのかズボンなのか分からなくなったりするなど、着替えができなくなります。
- ④失認 : 視力に障害はなく、見えているはずなのに、対象がなんであるのかわからなくなります。
- ⑤失語 : 意味のある言葉を発したり、聞いた言葉を理解できなくなる障害です。
- ⑥実行機能障害 : 料理の味付けが出来なくなったり、料理器具の使い方がわからなくなったりします。掃除機や洗濯機の使い方がわからなくなったりもします。
- ⑦見当識障害 : 今、何時であるのか、何年何月何日であるのかの見当がつけられなくなり、昼なのか夜なのかも分からなくなることがあります。

### 認知症の症状②

記憶障害や見当識障害、判断力の低下などの基本的な認知症の症状に加えて、環境や性格、身体的不調、ストレスなどが影響して現れる症状です。人それぞれ出てくる症状はばらばらですし、その度合いも異なります。周囲の人間からの関わり方にも影響して現れもしますので、適切なケアを受けないと起こる症状とも言えます。

ご説明致しましたような認知症の症状は、認知症が進めば、どのような方にも起こりうることでありますので、こういった認知症の症状に対してのご理解をいただけるよう、ご協力をお願いしたいと思います。 文責：水村 勇史

### 適切なケアを受けないと起こる認知症の症状



## デイケア 秋の大運動会

今年もデイケアでは9・10月と2ヶ月に渡り『秋の大運動会』を行いました。ご利用者様と一緒に「玉入れ」「物送り」「大風船送り」を行い、ご利用者さん同士や職員同士の対決でパン食い競争も行いました。普段大きな声など出したことの無いようなご利用者様も、大きな声で自分のチームを応援している様子が見られました。最終種目の、職員による「バスタオルふみふみリレー」では、職員も必至でしたが応援して下さるご利用者様の声援ももの凄く、皆さんとても楽しまれました。



デイケア 介護職員 清水 桂子

## 2階 秋の始まりを肌で感じよう



今回の行事は“秋の始まりを肌で感じよう”というテーマのもと、ご利用者様のほぼ全員をロイヤル病院横広場にお連れして、そこでお菓子を食べたりお茶を飲んだり、体操をしたり歌を歌ったり等して過ごしてもらいました。当日の気温は少し肌寒かったのですが、「久しぶりに外に出られてよかった」や「外の空気が気持ちいい」等の喜びの声が聞かれたので良かったと思います。次回もまた、このような機会をもって皆様と楽しみたいと思いました。



2階 介護職員 宮下 幸枝 ・ 橋本 健治

## 3階 おでかけとんでん

3階はとんでんに外食！お寿司、うなぎ、そば、食後のデザートにあんみつやソフトクリームを召し上がっている方もいました。



お腹いっぱいになり、皆さんとても素敵な笑顔で、「また行きたいね」と声を聞くことができました。

別日にも、外に散歩に出掛けたのですが、この日は天気が非常に良い散歩日和でした！

だんだんと肌寒い季節になってきましたが、久しぶりに外に出たことで皆さんの素敵な笑顔が見れました。



3階職員 田淵美穂

## 4階 運動会

旧体育の日、10月10日に運動会を行いました。

種目は、玉入れ、宝探し、パン食い競争です。

赤チーム、白チームに分かれ競技を行いました。

ご利用者様皆、笑顔が多く、楽しんでいる様子が伺えました。

玉入れでは、3回戦行い同点の回もありましたが、最終的には赤チームの勝利でした。宝探しでは、ダン

ボールの中にちぎった新聞紙を入れ、その中にお菓子が入っており、10秒間の間に何個取れるか個人戦で行いました。パン食い競争はご利用者様同士が応援する姿もみられていました。運動会後には、打ち上げとしておやつとジュースを、ご利用者様皆で楽しみました

4階 介護職員 池田 絢子



## 5階 運動会と外出

5階の行事は毎年恒例の運動会と、感染予防期間に入る前の外出を行いました。

ご利用者の皆様には、日頃のグループリハビリや個別リハビリでの成果を思う存分に発揮していただき、笑顔あふれる運動会になりました。

外出はドライブと外食の二通りがありました。ドライブは狭山湖に行き、天気も良く遠くに見える富士山を見ながらお茶とお菓子を食べて気分転換ができたようです。外食は和食レストランの「とんでん」にご利用者様と職員の合計で14名と大所帯での食事をしてきました。日頃、食べられないメニューを食べられ、どのご利用者様も大満足の表情をされていました。当施設、11月より感染症予防の為の対策として外出が出来ない期間になりますが、その前にご利用者様と職員と一緒に行くことができ、とても楽しい外出になりました。

5階 介護職員 穂本 高浩



## 6階 秋の運動会

10月25日(木)に、6階では毎年恒例の秋の運動会を開催しました♪

ご利用者様には赤組・白組に分かれていただき、ハチマキを巻くとやる気満々な表情です。

種目は、ご利用者様による「玉入れ」と、風船を大きな袋に入れ職員とキャッチボールのように順番に打ち合う「ボールリレー」です。そして!!職員対抗の小麦粉を入れたトレーの中から1個の飴玉を顔を突っ込み見つける、おもしろい競争と「ストッキング綱引き」です。玉入れもボールリレーも大熱戦、赤組も白組も一步も譲りません。そして、一番の盛り上がりが、おもしろいでなかなか見つからない1個の飴玉を職員が必死に顔のみで探し、真っ白くなったところです。また、ストッキング相撲ではストッキングでお互い引っ張り合う職員の変顔も見られました。利用者様だけでなく職員も楽しんだ運動会でした。今後も利用者様に施設生活を楽しんでもらえるような行事やレクリエーションを企画していきたいと思えます。

6階 介護職員 穂苅 薫



## 職員紹介



9月3日に入職いたしました中西恵です。以前は、病院で療養や精神科で働いていました。今回、縁があってこちらで働かせていただくことになりました。施設での看護は未経験ですが、一日でも早くこちらの仕事に慣れて戦力となれるよう頑張りますので、ご指導のほどよろしく願いいたします。

4階 看護師 中西 恵



7月よりデイケアでお仕事をさせて頂いています、金田と申します。毎日楽しくお仕事をさせて頂いているうちに、あっという間に5ヶ月が経ちました。まだまだ至らぬ点多々あると思いますが、皆様と笑顔で過せる様に頑張りますので、これからも宜しくお願いします。

デイケア 介護職員 金田 雪枝



9月に入職しました、ケアワーカーの望月美和です。リハビリ病院で介護職として働いておりましたが施設の中でもう一度働きたいという気持ちが強くなり、この度当施設に再入職させていただきました。新たな気持ちで心のこもった対応を心掛けながら、丘の職員としてご利用者様一人一人と出会いを大切に、笑顔を引き出せるように、敬う気持ちを持ちながら利用者様と関わっていきたくと思います。宜しくお願いします。

5階 介護職員 望月 美和

## 家族懇親会

今年も10月13日(土)に3・4・6階と、10月28日(日)にデイケア・2・5階と2日間に分けて、家族懇親会を開催致しました。

ご家族の皆様には、お忙しい中沢山のご参加を頂きありがとうございました。当日は各階でそれぞれ独自の催し物を考え、ご利用者様とご家族様と一緒に楽しんで頂きました。ミニレクリエーションを行なった階や、カラオケ大会で盛り上がった階もあり、またスライドショーを行い日頃利用者様がどのように過しているのかを見て頂いた階もありました。デイケアでは、普段利用者様が行なっている作品作りを実際にご家族に行なって頂いたり、浴室で入浴の仕方を実演したりしながら説明させて頂きました。最後はおやつを食べながら、職員も一緒に楽しくおしゃべりさせて頂き、あっという間の2時間でした。



デイケア 介護職員 清水 桂子